

ー専修大学国際交流センター グローバル人材育成プロジェクトー  
令和6年度寮内留学プログラム（後期）募集要項

## 1. プログラム趣旨

寮内留学プログラムとは、本学国際交流協定校からの交換留学生及び短期留学生の滞在する「専修大学国際交流会館」にレジデント・パートナー（RP）として約6か月間入寮し、専修大学21世紀ビジョンの下、留学生との協働生活を通じて異文化理解や国際コミュニケーション力を養うことを目的としたグローバル人材育成プログラムです。参加にあたっては、学業との両立ができ、自身の成長のみならず、留学生をサポートする積極性やボランティア精神を有し、異なるバックグラウンドを持つ他者との協働ができる人物が求められます。

また、寮内留学プログラム（後期）参加者は、9月～12月の間「SiU インターナショナルプログラム」を受講します。同プログラムでは、国際交流協定校からの留学生と共に「日本理解プログラム」\*の授業の一部を受講することができ、国内にいながらにして海外留学体験ができます。

\*日本理解プログラムとは…国際交流協定校からの留学生向けに、英語で日本文化や日本のビジネスについて学ぶプログラムです。

## 2. プログラム期間

令和6年9月2日（月）～令和7年3月4日（火）184日間

※ プログラム期間中「専修大学国際交流会館」に滞在。

## 3. プログラム内容

### （1） English Camp

〔令和6年9月3日（火）～9日（月）〕（予定）4時間/日×5日＝20時間

レジデント・パートナーの基礎知識として必要な「日本文化・歴史・日本事情やキャンパスライフ」をテーマに英語によるダイアログ（対話 dialogue）を実施し、リサーチ・分析・発表・情報共有・意見交換の過程を通して、英語によるコミュニケーション能力の向上を目指すことはもちろん、他社との相互理解と多角的な視野を持つ力も身に付けるアクティブ・ラーニングを行います。

- 講師：外部講師（予定）
- アドバイザー：ノートン，ベン（国際交流センター職員）  
紺野勝則（国際交流センター英語インストラクター）

### （2） 異文化間コミュニケーショントレーニング

〔令和6年9月11日（水）及び9月12日（木）〕（予定）3時間/日×2日＝6時間

異文化間コミュニケーショントレーニングでは、多様な文化背景を持つ留学生と生活を送る上で求められる異文化理解力やコミュニケーション力を、グループワーク等で分かりやすく学んでいきます。「多文化共生」を念頭に、他者とのコミュニケーションを通じて協働生活の基礎作りをすることを目的としています。

- 講師：外国語特任講師（予定）

(3) レジデント・パートナー (RP) [令和6年9月2日(月)～令和7年3月4日(火)]

国際交流会館に滞在し、特別聴講生、日本理解 (BCL) プログラム及び日本語・日本事情 (JLC) プログラムに参加する短期留学生の学習・日常生活をサポートします。

(4) プログラムアサイメント

① プレゼンテーション

来日した留学生に対して英語及び日本語で「日本の生活」などをテーマにプレゼンテーションを行います。

② マンスリーレポートの提出 (5回)

毎月目標を立てて、各自目標達成に向かって取り組み、月末にはその達成度等を報告します。

③ 寮内留学プログラム最終報告会

「寮内留学プログラムを通じて学んだこと」をテーマに最終プレゼンテーションを実施します。

(5) 短期留学生の日本語授業への参加、課外活動のアテンド

短期留学生が参加する「日本語・日本事情プログラム」及び「日本理解プログラム」の日本語授業にクラスビジターとして参加し、留学生の学習をサポートします。また、課外活動にも一緒に参加し、留学生の日本文化体験等のサポートを通じて、各自も学びを深めます。

(6) SiU インターナショナルプログラムの受講

「日本理解プログラム (BCL)」及び「海外客員教授特別講演会」を受講します。「日本理解プログラム (BCL)」では、日本文化や日本のビジネスについて留学生と共に英語で学習します。「海外客員教授特別講演会」では経済学や商学についての授業を英語で受講します。知識の修得はもちろんのこと、英語による授業で国際コミュニケーション力を醸成します。

「日本理解プログラム」 合計450分(予定)

「海外客員教授特別講演会」 90分/回×2コマ=180分(予定)

4. 募集人数

15名

5. 応募条件

- ① プログラムの趣旨を理解し、参加目的が明確なこと
- ② 心身ともに、本プログラム参加に支障がないと見込まれること
- ③ 異文化に柔軟に適応でき、居住者のプライバシーに配慮し、共同生活を送れること
- ④ 誓約書に記載されている事項に同意し、保証人の承諾が得られること
- ⑤ 短期留学生と一緒に「日本理解プログラム (BCL)」を受講可能な英語力があること  
(TOEFL ITP®テスト 430 点以上または英検 2 級以上)
- ⑥ 諸手続き等において遅延なく行えること
- ⑦ プログラム期間中、本学の指示に従うことができること

※ 本プログラム対象者は、本学在学生 (休学者及び休学予定者を除く) とし、前期・後期にかかわらず、本プログラムの参加が初めての者に限ります。

## 6. 応募書類

- ① 寮内留学プログラム参加申込書 [様式 1-1]
- ② 寮内留学プログラム応募理由書 [様式 1-2]
- ③ 誓約書 [様式 2]
- ④ 承諾書 [様式 3]
- ⑤ 保健調査票
- ⑥ 学業成績証明書 (和文 1 通)
- ⑦ 語学能力試験の証明書 (TOEFL ITP®テスト 430 点以上または英検 2 級以上取得している場合は提出してください。)

\* 上記①～⑤の応募書類は、生田キャンパス国際交流センター (9 号館 5F) または神田キャンパスグローバルカウンター (10 号館 15F) にて配付します。

\* ⑥は教務課横の証明書自動発行機で取得してください。

提出先: 【生田】国際交流センター (9 号館 5F) 【神田】グローバルカウンター (10 号館 15F)

## 7. 申込締切

令和 6 年 6 月 19 日 (水) 午後 5 時

## 8. 選考

### (1) 選考方法

適性検査 (筆記試験)・書類審査及び面接試験の総合評価により選考します。

### (2) 選考日程

適性検査 (筆記試験) 令和 6 年 6 月 21 日 (金)

選考 [面接、書類審査] 令和 6 年 7 月 6 日 (土)

※ 適性検査 (筆記試験)・書類審査及び面接試験の総合評価により選考します。ただし、申込人数が大幅に募集人数を越えた場合、適性検査 (筆記試験) の結果をもって第一次選考合格者を発表し、書類審査及び面接試験を第二次選考とする二段階選考を実施する可能性があります。

## 9. プログラム費用

222,000 円 (概算)

- ※ English Camp 受講料、異文化間コミュニケーショントレーニング受講料及び国際交流会館宿泊費を含みます。
- ※ 費用は専修大学寮内留学プログラム補助金支給額が控除されています。
- ※ プログラム費用は概算であり、変更になる場合があります。
- ※ 国際交流会館では食事の提供はありません。
- ※ 留学生と一緒に参加する課外活動に関わる交通費、入場料等は各自負担となります。

### 【専修大学寮内留学プログラム補助金】

寮内留学プログラム参加者の経済的負担を軽減し、グローバル人材の育成を支援することを目的として、補助金を支給する。

## 10. その他

- ① 他の留学プログラムと重複して参加を希望する場合は、申込前に必ず生田キャンパス国際交流センターまたは神田キャンパスグローバルカウンターに相談に来てください。
- ② 応募に関する質問・相談等は、生田キャンパス国際交流センターまたは神田キャンパスグローバルカウンターに相談してください。

## 11. 問い合わせ先

専修大学 国際交流センター（生田キャンパス 9号館 5階）

平日：9:00～17:00 TEL：044-911-1250

グローバルカウンター（神田キャンパス 10号館 15階）

平日：9:00～17:00 TEL：03-3265-3835

E-mail: [iaffairs@acc.senshu-u.ac.jp](mailto:iaffairs@acc.senshu-u.ac.jp)（両キャンパス共通）

以上